



注目

むすび深町では、自立訓練（生活訓練）通所利用者と、宿泊型自立訓練の新規入居者を若干名募集しています。通所利用はあと9名の受入が可能。宿泊型は空室が1部屋（男性用）のみです。

2022年の開所から小規模の特性を活かして手厚い支援を行っており、すでに卒業され、ご本人の希望にあった住まいや仕事に移られた方もいらっしゃいます。ご利用希望の方は、ぜひ宿泊や通所の体験にお越しください。

担当：加藤 服部

### 通所 自立訓練（生活訓練） スケジュール

- 8:30…送迎
- 9:00…朝の掃除、準備
- 9:30…体操、朝礼
- 10:00…1限目カリキュラム
- 11:00…2限目カリキュラム
- 12:00…昼食
- 13:00…3限目カリキュラム
- 14:15…4限目カリキュラム
- 15:30…清掃、日誌記録
- 16:00…送迎

★土日祝日も通所のカリキュラムを実施しています。

むすび深町のHPこちら→



近くの籠田中央公園は様々な花が満載で、あずまやの下でゆっくり休むことが出来ます。少し隠れ家的な感じなのがなお心地よいです。  
支援員より

〒990-2462

山形市深町1丁目4-13

TEL:023-666-4471 FAX:023-666-4472

E-mail: musubi-f@klala-net.jp

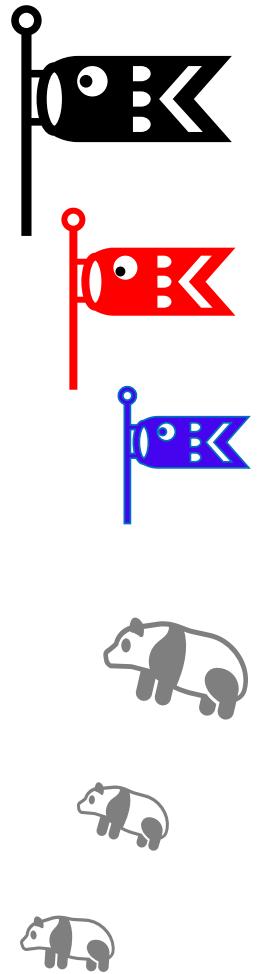
特定非営利活動法人 あじさい

自立訓練（生活訓練）／宿泊型自立訓練  
相談支援事業所

広報誌  
2024年5月号

# むすび深町

あなたの暮らしと社会を「むすぶ」



むすび深町ではこのGW期間に、福祉サービスを使ったことのない方でも気軽にご相談ができるよう、オープンスクールと称して4月29日（月・祝）と5月6日（月・祝）の両日に施設見学＆説明＆生活訓練体験会を実施しました。改めてむすび深町の複合的な内容をご来所いただいた方々に知っていただくことができたと思います。今回の広報誌ではその様子と内容をご紹介します。



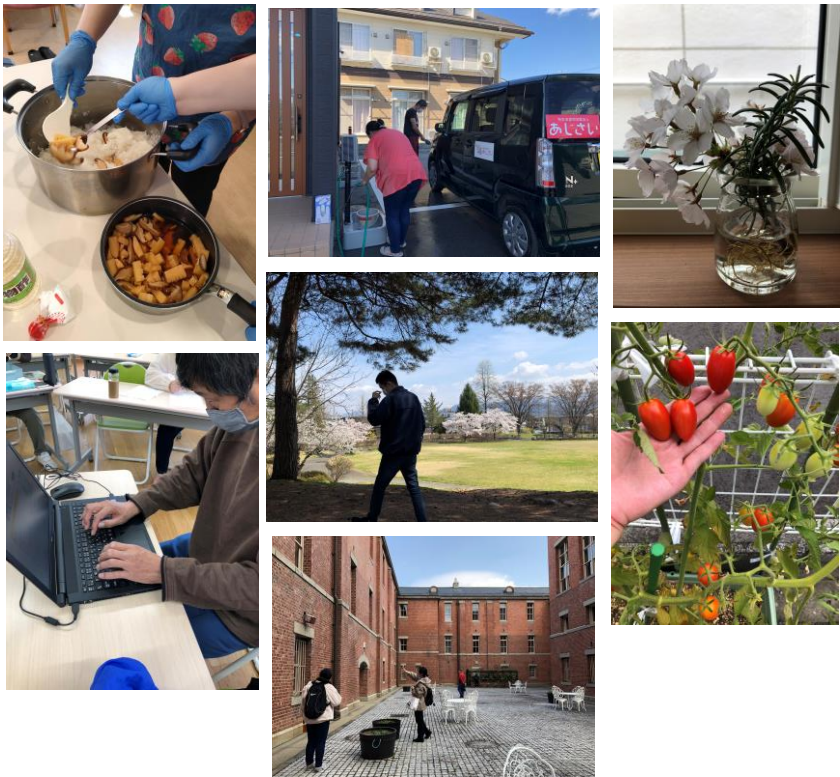
# 【特集】

## 2024年春 オープンスクール ご報告

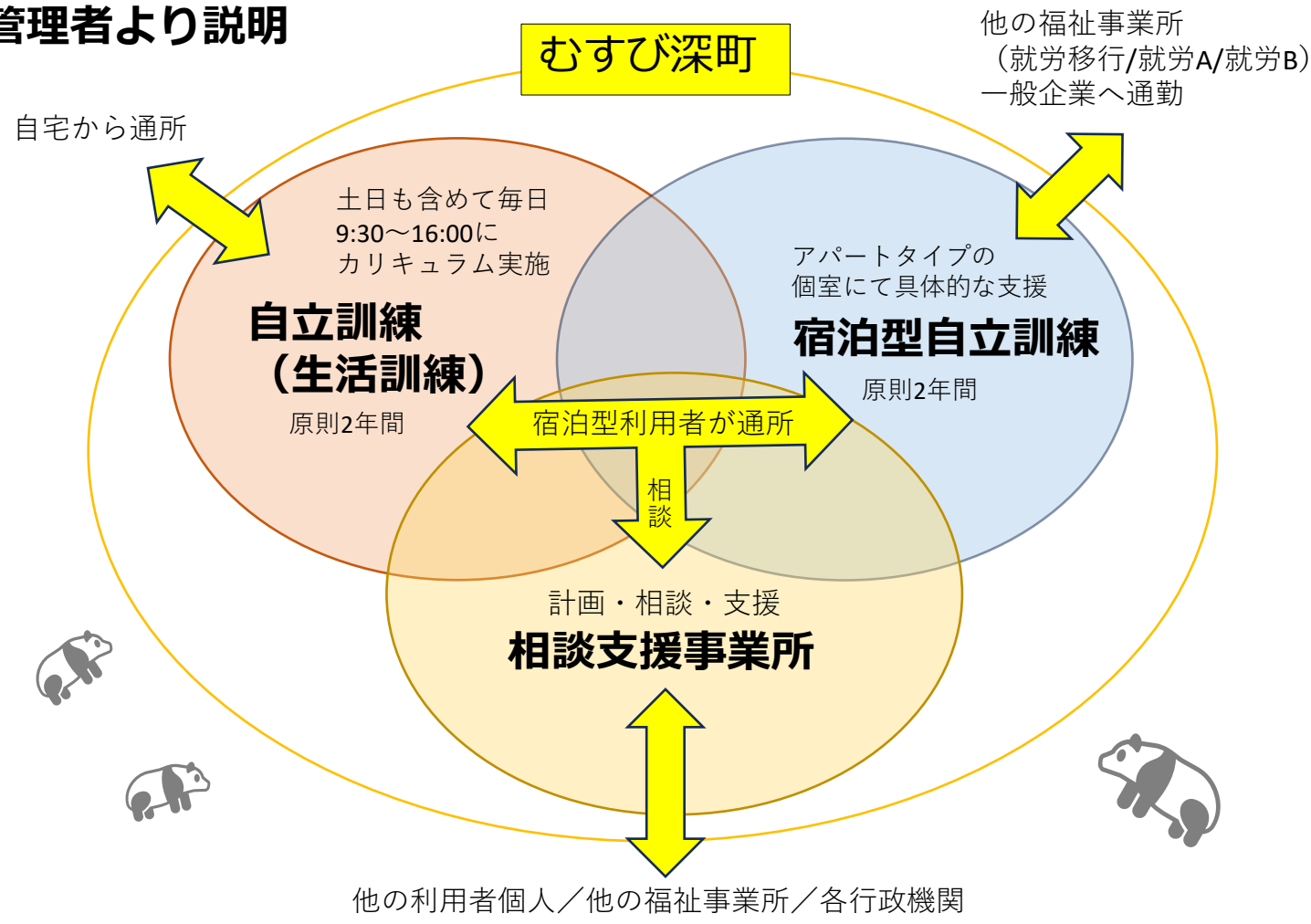
開催日：4月29日（月・祝）  
5月 6日（月・祝）  
時間：13:00～16:00  
場所：むすび深町 実習棟

ご来所くださった方々：  
○利用希望のご本人とご家族  
○家族会の方々  
○社会福祉協議会のご関係者  
○障害福祉サービスに関心があるご家族  
など

実施内容：  
○実習棟&宿泊棟の施設見学（個別で随時対応）  
○体験用の生活訓練カリキュラム  
①13:00～13:40 自己理解  
②14:00～14:40 SST（コミュニケーション）  
③15:00～15:40 LST（金銭管理）  
○管理者による説明会&見学会（13:00～約70分）



### 管理者より説明



### 自立訓練（生活訓練）

定員 20名

訓練における柱となる3つの重要な目的

- 生活リズムを整えること（体調管理）
- 金銭管理ができるようになること
- 住環境の管理ができるようになること

【実施しているカリキュラム項目】  
LST（ライフスキトレーニング）  
SST（ソーシャルスキルトレーニング）  
自己理解  
SW（模擬業務）  
LA（余暇活動）／書写／脳トレ  
調理訓練／清掃活動  
課外活動／外部講師による講座

### 宿泊型自立訓練

定員 18名

5月上旬時点で、男性6名、女性10名、年齢は18歳から50代後半までが利用中。その他にもすでに入居が決まっている方が1名おり空きが1室のみだが、今秋に卒業者予定者が数名おり、空室が出る予定。

日中はむすび深町の自立訓練に通所している方、関連機関の寒河江市にある（株）ソーシャルトライの就労継続支援B型事業所「むすび」に通勤している方が多く、その他にも近隣の就労B型、就労移行支援に通っている方や、一般企業の障害者枠に就労している方とさまざまである。

### 相談支援事業所

福祉サービスを利用したい方に対してご本人の意思決定を尊重し、計画を立て事業所を紹介。定期的なモニタリングを行いご本人の状態を確認しながら、各事業所や行政機関と連携して、ニーズにあった包括的なサポートを実施している。

### 質疑応答

当日のやり取りを抜粋して掲載しています。

Q. 知的・発達・精神などさまざまな障害を持った方に開いているようだが工夫されている点は？

A. 障害の違いはもちろん、個々人の能力に合った方向性を指し示し、2年後にご本人がどういう選択ができるかの可能性を上げられるように支援しています。

Q. 2年間の自立訓練の終了後については？

A. むすび深町に在籍中に日中活動先と居住について、利用されている方々の状態・状況に合わせて支援しています。今までですと、一人暮らしを始める方や進学される方もいらっしゃいました。むすび深町に在籍している間に就労移行支援や就労A型・B型など活動先に体験を促し、それにとめないグループホームや一人暮らしも地域移行支援員を中心に遂行させていただいています。

Q. 実際にかかる経費については？

A. 自立訓練（生活訓練）については、大体の方が昼の給食材料費のみで、往復の送迎車の利用は原則自己負担はありません。  
宿泊型自立訓練は家賃共益費と提供分の食費のみ法人にて徴収。その他に居室で利用している光熱費は一人ずつに請求書が紙面で届くようにしており、口座引き落としではなく自分自身で支払いに行くようにして、自分の生活に関わる金銭に自覚的になってもらっています。その他の生活費も、一人一人と個別で金銭管理をする時間を設けて、限られた収入の中で暮らしていく方法を方法を学んでもらいます。

Q. 金銭管理など個別指導もあるようだが、家族が管理するのも構わないのか？

A. 金銭管理に限らず、ご本人とご家族の要望を踏まえた支援計画に基づいているので全く問題はありません。訪問看護を利用されている方もたくさんいて、回数も週3回から月1回まで様々です。

Q. 自家用車の利用については可能か？

A. 自分で運転して通所したり、宿泊型利用で車を保持することは問題ありませんが、駐車場は限りがあるので近隣の月極駐車場などをご利用いただくことにしております。

Q. 送迎の可能なエリアは？

A. 現在の送迎は山形市内が中心ですが、相談に応じることはできます。また、徒歩や自家用車などで通所する場合でもその日の体調に合わせて送迎を希望する場合は、当日対応も可能です。